

近場で楽しめて強引を味わえる魅惑のチヌ釣りを普及させよう

落とし込み実釣講習会 in 大阪・堺港

レンタル完備で初心者にもうれしい 実釣では年無し2匹も登場したぞ

「僕が落とし込みをやろうと思って2年間釣れなかつたんです。ところがある人に連れていってもらって2回目、いいサ
「僕が落とし込みをやろうと思って2年間釣れなかつたんです。ところがある人に連れていってもらって2回目、いいサ
入門するのなら教えてもらって先生役のスタッフは7人。私も最近無沙汰だった方がチヌへの近道になる。そこで、この講習会を考えたんです」と話すのは、6月17日に大阪・堺の夢フィッシングで開催された落とし込み講習会を主催する釣具メーカー、オーランド・大島



船に乗り込む前にまずは事前レクチャー



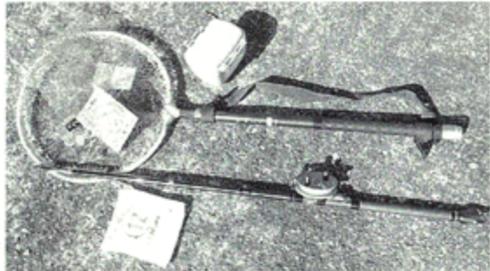
生徒さん2、3人に先が1人付いた



キビレも数匹上がっていた



1人で年無し2匹を仕留めた猛者も...



当日のレンタルタックル



レンタルの中には小物も全て揃っていた



当日の参加者とスタッフ全員で...



実釣で基本をしっかりとレクチャーしてくれた



最後は全員に賞品が進呈。女性も頑張りました

がスタート。落とし込み釣りの基本ラインが説明された後は、全員で乗船して当日の釣り場である宇部波止へ。宇部波止に下りると、今度は全くの初心者、経験者に分かれ、スタッフ1人と2、3人の生徒が組を作つての実釣講習会へ。ここではサオの扱い方、仕掛けのセット方法、鳴門リールのようなギア比1対1のリールでのやり取りの方法などがレクチャーされた。

落ち込みはまきエドで奇せる釣りはない。そのため自ら歩いて、広範囲を探って活性の高いチヌの目の前にエサを落とすていくのが基本。

スタートの時間帯は潮位が高く、実際の波止の中へうまくスライドさせれば、エサが壁に当たりながら沈む。

この数年、落とし込みでの定番となっている釣りが「スライダー釣法」と呼ばれる釣り方。イガーの中にハリとともに入れるオモリの位置で、目の抵抗を利用して斜めにエサがスライドしていくように落とす釣りなの

ただ、基本動作はほとんどの人が習得できているイメージで、後は落とし込み回数を重ねてチヌ

大島製作所では、大阪湾の各波止で落とし込み講習会を重ねており、7月8日には誰でも参加できる「落とし込み釣り大会」も開催予定。詳しくは大島製作所のホームページで。
▼問い合わせ 夢フィッシング ☎090(1079)6837番
最新情報は本紙15面「週間ワイド釣況」参照。
(本紙・松村計吾)

準備が整ったグループから、スタッフに付いて広大な宇部波止、セル石の釣り場へ散っていく。準備が整ったグループから、スタッフに付いて広大な宇部波止、セル石の釣り場へ散っていく。

数10秒の位置でオーバーハングになっていて、奥はスリット状になっていて、波止際ぎりぎりに落とし込んだつもりでも、オーバーハングになって

理論では分かっているも、オモリの位置や目印の浮かべ方など、なかなか理想通りにはいかないが、それでも開始早々に宇部波止の奥で先生&生徒のダブルヒットがあったり、セル石でもチヌ、キビレが連発したとの連絡も入っていた。

潮位が下がってくると、波止のスリットが姿を見せ参加者は「あ、こんな形になってるんですね。だから奥へスライドさせる釣りが有効なんですね」と話していた。最初はサオの扱い、目